

# 北海道SDGs推進ネットワークの状況(②活動内容)

資料2-3

## <会員の取組状況の見える化～道のHPで公開>

- ・ R4. 11. 21～12. 9の期間でネットワーク会員(1,983会員)を対象にSDGsの取組状況調査を実施。200会員から回答。
- ・ 様式1：会員単独での取組状況について～127会員
- ・ 様式2：会員同士の連携の取組状況について～2会員
- ・ 様式3：取組には至っていない会員からの状況報告～71会員
- ・ **公開を希望する71会員の取組を道のHPで公開。**

会員の取組とゴールの関連

 29	 24	 81	 24
 23	 51	 80	 50
 58	 75	 62	合計(延べ) 819
 64	 42	 41	
 33	 34	 45	

振興局別	
石狩	111
空知	11
後志	7
胆振	9
日高	2
渡島	7
檜山	3
上川	17
留萌	3
宗谷	1
オホーツク	6
十勝	11
釧路	6
根室	2
道外	4

振興局合計 200

業種別	
A. 農業, 林業	2
B. 漁業	0
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	0
D. 建設業	44
E. 製造業	13
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	1
G. 情報通信業	8
H. 運輸業, 郵便業	5
I. 卸売業, 小売業	13
J. 金融業, 保険業	10
K. 不動産業, 物品賃貸業	6
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	9
M. 宿泊業, 飲食サービス業	0
N. 生活関連サービス業, 娯楽業	1
O. 教育, 学習支援業	5
P. 医療, 福祉	9
Q. 複合サービス業	1
R. サービス業 (他に分類されないもの)	24
S. 公務 (他に分類されるものを除く)	46
T. 分類不能の産業	1
個人	2

合計 200

## ＜会員向けセミナーの開催＞

- ・「SDGs×北海道セミナー2023」をR5. 2. 8に開催(定員400人)
- ・北大、JICA北海道との共催
- ・今年度は若者世代のSDGsの取組にスポットを当てた内容とした。

## ＜メールマガジンの発行＞

- ・R4. 4月～R5. 1月までの間、16本配信。
- ・メールアドレスを登録している会員(約2,000人)に情報共有。

## SDGs×北海道セミナー 2023

日時：令和5年2月8日(水)  
15:00～17:30

開場：オンライン(ZOOMを使用)

定員：400名(先着順/2月7日申込締切)

申込：次のURLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sks/SDGs/139331.html>

道HP(本セミナー案内ページ)に移動します。  
移動先にある「お申し込み方法」から手続きをお願いします。

15:00 開会

15:10 基調講演：環境再生型事業とブランド。  
(株)Zebras and Company 共同創業者/代表取締役、  
(株)ユートピアアグリカルチャープロデューサー 阿座上 陽平 氏

15:45 SDGsに関する取組発表  
(JICA北海道、北海道大学、留萌高校)

16:40 パネルディスカッション

17:30 閉会

※各プログラムについては、裏面もご覧ください。



### 基調講演：環境再生型事業とブランド。

あざかみ 陽平 氏

地球環境を配慮する時代から、事業を営みながら再生を目指す時代に。自然環境と共にある農林水産業が持つこれからの時代のチャンスの流れと、それをつかむヒントとして応援されるブランドの作り方をお伝えします。

プロフィール  
○株式会社Zebras and Company 共同創業者/代表取締役  
○株式会社ユートピアアグリカルチャープロデューサー  
メディア企業、デジタルエージェンシーを経て、「BAKE CHEESE TART」などを製造・販売する株式会社BAKEに就任し成長に貢献するとともに、BAKE時代より事業を共に作ってきた長沼真太郎氏が立ち上げたユートピアアグリカルチャーの事業プロデュースを行う。その後、独立し、社会課題の解決と自立的経営の確立を目指す「ゼブラ」の考えに共鳴し、2021年にゼブラブランドカンパニーを創設。

#### 取組発表① JICA 北海道

■城戸 大樹 氏  
テーマ：私の持続可能性

■高野 悠己 氏  
テーマ：パートナーシップですべての人に健康と福祉を

JICA 海外協力隊として、海外で活動したご経験のあるお二人です。

城戸氏からは、環境教育の職種で、派遣先である東ティモール国内の学校での出張授業、マンゴロープの植林活動や、帰国後に取り組まれている支那湖でのカヤックガイド、環境教育の活動等についてお話をいただきます。

高野氏からは、派遣先であるバブアニューギニアで、エイズ等の感染症啓発活動に取り組まれたご経験、帰国後、東川日本語学校にて留学生の医療支援や多文化共生事業に携わったご経験についてお話をいただきます。

#### 取組発表② 北海道大学

■浪江 日和 氏(農学院) 〃  
テーマ：無肥料・無農薬水田が未来の地球環境を救う!?  
-江戸時代に倣う水田農業-

■大江 弘峻氏(情報科学院) 〃  
テーマ：AIとIoTを活用したデータ駆動型灯油配達計画の立案

「自分の研究テーマを、もっと沢山の人も知ってもらいたい」、「自分の研究成果を社会に役立てたい」という思いをもつ大学院生のお二人から研究テーマについて発表いただきます。発表を行うのは、「サイエンスフェスタ 2022 研究成果でSDGsに貢献する発表会@チカホ」博士学生が幅広く、66のミライ@ (R4.12.17~18)でポスター展示を行った66人の大学院生の中から選ばれたお二人です。

#### 取組発表③ 留萌高校

■1 チーム目  
テーマ：プラスチックゴミの環境への影響や燃えるゴミの埋立施設から見た課題について。

■2 チーム目  
テーマ：身近にある風力発電とゼロカーボンについて。

高校生が北海道大学と連携し、SDGsやゼロカーボン実現に向けて探究しました。

北海道大学の教授や大学院生から助言を得ながら探究した内容と、市民にSDGsやゼロカーボンにどのようにアプローチするかなど、高校生の視点で2チームから発表いただきます。

### パネルディスカッション

テーマ：私たちの取組がつながる『持続可能な未来』に向けて。  
パネラー：阿座上氏、取組発表者。

世界の社会課題と持続可能性について、世界の現状が熟考を重ねて2015年にまとめたものがSDGsです。世界や国内、道内の課題を理解して、解決のための研究、活動、事業を行っているメンバーの活動の共通点を洗い出します。そこには、気づきと行動、そして連携・協働(パートナーシップ)があります。メンバーの活動を振り返り、その気づき、行動、連携・協働の仕様に認められたかについて、確認していきます。そして、すべての人が今日から取り組める「Think Globally, Act Locally」について、意見交換を行います。

お問い合わせ：北海道総合政策部計画画推進課 担当：清水・矢萩  
TEL:011-206-6798 E-mail: keikaku.suishin@pref.hokkaido.lg.jp

件名：【22.12.15】北海道SDGs推進ネットワークからのお知らせ  
日時：2022年12月15日(木) 17:03

[2022.12.15発行]

北海道SDGs推進ネットワークからのお知らせ

1 北海道からのお知らせ  
「北海道人権配慮企業登録・紹介制度(仮称)」の試行と意見募集を行っています！

「北海道人権配慮企業登録・紹介制度(仮称)」の試行と意見募集を行っています！

北海道環境生活部道民生活課では、「北海道人権配慮推進基本方針※」に掲げる12分野に関連する人権配慮の取組が行われている道内企業等を登録し、道がホームページ等で紹介することにより、人権への配慮が企業の評価や信頼性を高めることへの理解を広げていく制度を創設することいたしました。

※この基本方針は、SDGsの趣旨にも対応するものです。  
企業等の皆様方は、SDGsを入口に、本制度への登録をご検討いただくことができます。

そこで制度の本格導入の前に、Webサイト上で紹介イメージや操作性などを実際にお試しいただき、ご意見を頂く「試行期間」を設けさせていただくことにしました。

より分かりやすく魅力的な制度にしたいと考えておりますので、多くの企業等の皆様方からのご応募・ご意見をお待ちしています！

【試行募集期間】  
令和4年(2022年)11月30日(水)～令和5年(2023年)1月13日(金)

本制度の試行実施と意見募集の詳細につきましては、下記URLからご確認をお願いします。  
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/jinken/jinken-hp/jinnkennhairyokigyoyou.html>  
※北海道環境生活部道民生活課のページにリンクします。

## ○メールマガジンの内訳

- ・イベント告知:15件(女性活躍セミナー、ワークショップ開催など)
- ・道庁からのお知らせ:4件(特・ト制度開始など)